

## 明治以前 日本で記録されたコガネムシ

### 高橋 寿郎

#### はじめに

江戸末期に洋学の知識が入ってくるとともに日本を訪れる欧米人も多くなり、各種の学問がこれら欧米人によって発展を始めた。

甲虫の分類研究も、まず日本にどのようなコガネムシがいるのかを調べることから始まり、明治までヨーロッパ人による日本のコガネムシの研究がおこなわれた。そこで、明治に至る迄のヨーロッパ人の日本のコガネムシの研究の経緯を所有文献によって眺めて見て、明治迄に日本のコガネムシで学名を与えられ記載されたものをまとめて見た。本文は貧弱な筆者の所有文献による報告であるから、重要な文献の脱落、浅学未熟故の大きな誤りがあるかも知れない。それらについて御叱正、御教示頂くことが出来れば幸いである。

また、日頃何かと御指導、御世話になっている次の諸氏に厚く御礼申しあげさせて頂く(敬称略, ABC順)。

石田正明, 三宅義一, 中根猛彦, 中村慎吾,  
故野村 鎮, 大野正男, 淀江賢一郎。

尚、本文発表の機会を与えて下さった相坂耕作氏にも厚く御礼申しあげる。

#### 概 説

日本産の昆虫に始めて学名を与えられたのは、江崎博士によると1775年(安永4年)から1776年(安永5年)まで、長崎へ来て江戸まで旅行した Carl Peter THUNBERG (1743~1828) が採集して持ち帰った昆虫を彼自身が発表したものであって、その最も古いものは *Dissertatis Entomologica-novas insectorum species 1781~1791* の中にあると、しかし残念ながらそれにはコガネムシは1種もない。

日本のコガネムシの研究は、MOTSCHULSKY により始めてまとまったものが発表されたと云ってよいのであるが、それ以前にも若干の報文発表がある。

日本のコガネムシで初めて学名の与えられたものはどの種であろうか。文献類で逆に探して見ると、1771年の LINNE' が記載した (*Mant. Plant. VI, p. 525*) ものとして、*Allomyrina dichotomus* LINNE' が Japan から記録されていることになる (W. JUNK, *Coleop. Cat. Pars. 156, p. 95, 1937*)。

そうすると、この種が一番古いことになる。ところで、江崎博士は"1775年 LINNE' によって命名された昆虫で日本に産するものは多数あるが、これは欧州或いはインド等と共通の種類であって、日本産の標本に基づいて名付けられた種は一つもない。また、その後彼の命名したものの中に日本産のものを見出すことは出来ない"(1952)として、初めに記したごとく THUNBERG の命名を一番古いとされた。もしこの LINNE' の記載が日本産であれば THUNBERG の記載より古いことになる。

もっとも、本種は朝鮮半島、中国、インドシナ半島に分布しているから、その辺の産地のもので記載されているのかも知れない。

しかしながら、反面カブトムシそのものは日本では普通にいる種だし、大きさも大きく日本人が古くから記述(日本産コガネムシに関する文献、明治以前。比婆科学 No. 165:35-46, 1995)し、ポピュラーなものであるから、当時渡来したヨーロッパ人が持ち帰り、何らかの経路で LINNE' が記載に使用したとしても別に不思議はない。中根博士も"日本を訪れた外国人によって欧州に持ち帰られた甲虫が専門家の手によって発表されだしたのは、1830年代に入ってからのもので——"と記しておられるので(1966)、やはりカブトムシの命名は日本産ではないように思われる。

LINNE の原記載にはタイプ標本の指定が無く、何処産のもので命名されたものかはわからない(石田正明, 1987)。石田によれば記載に用いた個体は中国南部産のものではないかとのことである。日本からカブトムシが記録されたのは、1866年の MOTSCHULSKY の「日本の甲虫目録」に出てくる *Xylotrupes dichotomus* FABRICIUS であると考えられる。次に W. JUNK の Coleopt. Cat. によると、1835年 FALDERMANN が *Eopileuruc chinensis* を日本から新種として記載しているよう取り扱っているが、原論文 (Coleopterorum ab. Illustrissimo bungio in China Boreal, Monoglia, et Monibus Altacis, Me'm. Acad. Petr. II, p. 370, t. 4, f. 2) によると、学名のごとく中国からの記載で日本からのものではない。もっとも本種は日本にも産する。

1835年に HOPE は Monograph on *Mimela*, a Genus of Coleopterous Insects なる論文を発表 (Trans. ent. Soc. London, I, pp. 108~117), その中で *Mimela lucidula* なる新種を日本から記載した(この種は De HAAN 教授が *lucidula* と名付けてくれた標本に基づいたものである)。この種は残念ながら中国原産の *Mimela splendens* GYL. (*Melolontha*) (in Schönh Syn. Ins. I, 3, p. 110, 1817) のシノニムで消える。この種の方が前に発表されていて HOPE は知らずに記載したのだと思う。但し、このコガネムシが日本産として始めて学名を与えられた種ということになる。

MOTSCHULSKY の研究の現れる迄の日本のコガネムシの研究は、僅かに HOPE (1839, 1941), NEWMANN (1841), BURMEISTER (1842, 1844, 1845) のものがある位である。

## 研究史

1835. F. W. HOPE. Monograph on *Mimela*, a Genus of Coleopterous Insects.

Trans. ent. Soc. London I, part. II: 108-117.

本論文は中国、日本、ネパール、東インド、ジャワ各地産の *Mimela* 属 3 既知種 10 新種の記載を発表されたものである。

p. 113-114 に *Mimela lucidula* HOPE なる新種を日本から記載されている (This beautiful insect received from De HAAN\* under the name of *lucidula* とある)。この種が日本産コガネムシで始めて命名された種であるが、残念ながら中国原産の *Mimela splendens* GYLLENHAL, 1817 (*Melontha* 属で記載) (in Schönh Syn. Ins. I, 3, p. 110, 1817) のシノニムである。尚、本論文に (p. 114) *Mimela splendens* なる新種が Nepal から記載されているが、この方は現在 *Mimela heterochropus* BLANCH. (Cat. Coll. Ent. Col. 1850, p. 196) のシノニムとされている。

\* (Willem de HAAN 1805-1855 は Leyden 生まれの昆虫学者で、同地博物館で無脊椎動物を担当し、また Fauna Japonica の中の甲殻類を執筆した人である — 江崎, 1952)

1839. F. W. HOPE. A Monograph on Mr. William SHARP Mac Leay's Coleopterous Genus *Euchlora*

Proc. Zool. Soc. London, VII, pp. 65-75.

*Euchlora* 属 26 種 (*Euchlora* 属は現在 *Anomala* 属) の記載であり、うち 3 種が日本産である。

P. 70. *Euchlora albopilosa* HOPE = *Anomala* の日本からの記載。Leyden の友 De HAAN より送られた標本、産地は日本とのみ。

p. 72. *Ecchlora cuprea* HOPE = *Anomala* の日本からの記載がある。産地の記録はないが、Leyden の De HAAN 教授から受け取ったもので、SIEBOLD が *Cuprea* (銅色) と添付していたのでこの名をつけたと記している。

p. 73. 従来、中国原産として取り扱ってこられた (日本産としての記録は WATERHOUSE, 1975), *Euchlora costata* HOPE = *Anomala* が日本からの記載であることがわかった。本種も De HAAN 教授から送られたのものであると。"前胸

背の側縁黄色で上翅黄褐色，体下も同様，脚は黄色”で，多分これは未熟の標本であろうとしているが，この種は色彩変化多く，このような個体も採集出来る。未熟なるが故ではない。共に現在でも普通に得られる種である。

p. 75. *Mimela splendens* を日本から記録しているように，W. JUNK の Coleop. Cat. にはあるが，本論文を見ると中国からの記録である。(本論文では勿論，*Euchlora* 属となっているが，*Mimela* 属であろうと記している。1835年に自身が *splendens* と発表した種との関連については記していない)。

1841. F. W. HOPE. Description of some new Lamellicorn Coleoptera from Northern India. Trans. ent. Soc. London II:62-67.

表題のごとき論文であるが，p. 64に *Rhomborrhina japonica* HOPE なる新種が日本産で記載されている。産地は書いていないが，シーボルトが日本で得た標本で，Leyden の De HAAN 教授から送られたとある。現在，*Pseudotorynorrhina* 属に扱われている。

1841. NEWMANN. A descriptiv list of the Species of Popillia, in Cabinet of the Rey. F. W. HOPE.

Trans. ent. Soc. London, III:32-50.

W. JUNK の Coleopt. Cat. (Pars. 66, p. 134, 1916) によると，*Popilia japonica* の原記載は Ann. Mag. Nat. Hist. 2, II, p. 337, 1838 で，学名のごとく日本産での記載とある(中根博士もそのように記しておられる，1966)。岡山大学附属図書館農業生物研究所に上記原記載の Copy をお願いしたところ，その文献の該当頁にマメコガネの記載は無いむね返事があった。後に C. O. WATERHOUSE の "On the Lamellicorn Coleoptera of Japan (Trans. ent. Soc. Part. I, pp. 71~116, pl. III, ref. p. 112, 1875)" の中でも G. KRAATZ の *Popillia* 属の総説 "Monographische Pevision der Ruteliden-Gattung *Popillia* Serville

(Deut. Ent. Zeit. Heft. II, p. 257, 1892)" でも本種の原記載はこの表記論文になっている。多くの *Popilia* 属の新種記載があるが，p. 43に *Popilia japonica*, Japonia (Nippon, Jesso, Nagasaki)が記載されている。さらに，GEMMINGER et HAROLD の Catalogus Coleopterorum Tome IV (p. 1211, 1869) でも上記論文になっている。

1842. BURMEISTER, H. Sechste Ordnung Coleoptera Zunft. Lamellicornia, Erste Familia Melitophila Gatt. Rhomborrhina, Gatt. Anthracophora.

Handbuch der Entomologie, Band. III, Berlin.

本書は BURMEISTER, H., 1842-1855: Handbuch der Entomologie, Band III-V, Berlin の中の3冊にわたって甲虫類の解説をされているものであり，個々の論文でなく単行本の中で鯉角類を属単位で説明してある。その中には新種の記載も含まれている。

本書では次の日本産新種の記載である。

p. 194. 4. *Phomborrhina opalina* 5. *Rhomborrhina clypeata* DUP. 共に Japan から記載されているが，現在の知見では *Pseudotorynorrhina japonica* (HOPE) カナブンのことである。

p. 624. *Anthracophora rusticola* BURMEISTER, Japan から新種記載。現在でも有効(アカマダラハナムグリ)。

1844. BURMEISTER, H. Sechste Ordnung Coleoptera

1. Zunft Lamellicornia, Dritte Familie Phyllopertha Gattung Anomala (Phyllopertha) Handbuch der Entomologie, Band. IV; Berlin.

p. 243. 15. *Phyllopertha 8-costata* BURMEISTER, Japan より新種として記載されている。現在は，*Anomala octiescostata* (BURMEISTER, 1844) ヒラタアオコガネになる。

1855. BURMEISTER, H. Sechste Ordnung Coleoptera

1. Zunft Lamellicornia, Dritte Familie Phyllophaga

Handbuch der Entomologie, Band. V, Berlin.

p. 420. *Melolontha japonica* BURMEISTER, ♂, Japan (コフキコガネ)新種記載である。

1857. V. I. MOTSCHULSKY. Insectes du Japon Etud. Ent. tome 6, pp. 25-41.

MOTCHULSKY は「日本の昆虫」と題して3篇の論文, 1篇の「日本産昆虫目録」を発表, 多くの新種の記載をされた。本篇はその一番始めの論文で鞘翅目24種の記載の他に, RADASCKOVSKI の *Vespa* 1種の記載を含み, 別に蝶蛾類数十種の目録である。この論文の材料は, 1854-1855年に下田へ来たPUTIATIN 提督と共に同地に滞留した GOSCHKEVITSCH の採集品であるとのこと(江崎, 1952)。

コガネムシは9種を新種として記載された。そのうち, 属名の変わるものはあるとしても1種がシノニムとされ, 1種が他種の form とされた。それ以外, 7種が現在でも有効である。

記録されているコガネムシを記しておく(和名も全種につけた)。

p. 29, 5. *Lucanus inclinatus* MOTSCHULSKY = *Prosopocoilus* ノコギリクワガタ

p. 29-30, 6. *Psalidostomus* (?) *rectus* MOTSCHULSKY = *Dorcus* コクワガタ

p. 31, 7. *Geotrupes auratus* MOTSCHULSKY = *Geotrupes* (*Chromogeotrupes*) オオセンチコガネ

p. 32, 8. *Geotrupes laevistriatus* MOTSCHULSKY = *Geotrupes* (*Eogeotrupes*) センチコガネ

9. *Mimela Gaschkevitchii* MOTSCHULSKY 本種は1871年 GYLLENHAL が中国から命名した (in Schönh. Syn. Ins. I, 3, append. p. 110) *Mimela splendens* GYLLENHAL (コガネムシ) のシノニムとされている。

P. 33, 10. *Heptophylla picea* MOTSCHULSKY ナガチャコガネ

11. *Serica orientalis* MOTSCHULSKY = *Malader* (s. str.) ヒメビロウドコガネ

12. *Hoplia obducta* MOTSCHULSKY = *Ectinhoplia* ヒメアシナガコガネ

p. 34, 13. *Hoplia subulicola* MOTSCHULSKY = *Hoplia obducta* MOTSCHULSKY (ヒメアシナガコガネ)

1860. V. I. MOTSCHULSKY. Insectes du Japon Etud. Ent. tome 9, pp. 4-39.

函館駐在のロシア領事 GOSCHKEVITSCH の夫人の採集品の目録で, 鞘翅目及び鱗翅目の多数が記録されている。主として, 函館産のもののようなのであるが, 一部下田又は江戸で採集されたと思われるものも含まれている。

コガネムシ類の記載されたのは新種9種で, これらも含め前回の新種も勿論含まれて, 25種が記録されている。

新種記載のうち, 3種はシノニムとして消える。他は属名の変わるものは多いが有効である。記録された種のうち, 日本に産しない種が3種含まれていて, どれも同定の誤りかとも思うし, 大体どの種か見当がつく。次に記録されているコガネムシ類をまとめてみる。

P. 13. *Phanaeus minutus* MOTSCHULSKY = *Liatongus phanaeoides* (WESTWOOD, 1844) ツノコガネ

本種はインド原産の *Onthophagus phanaeoides* WESTWOOD (Royle's Himalay, Ent. p. 55, pl. 9, f. 3, 1840) のシノニムと WATERHOUSE はした(1875, 後掲, なお属名は *Oniticellus* となっている)。後に ARROW は (Fauna British India, Col. Lam. III, p. 364, 1931) 属名を *Liatongus* とされた。

*Copris acutidens* MOTSCHULSKY = *Copris* (s. str.) ゴホンダイコクコガネ

*Cantharsius ochus* MOTSCHULSKY = *Copris* (s. str.) ダイコクコガネ

p. 14. *Geotrupes auratus* MOTSCHULSKY = *Geotrupes* (*Chromogeotrupes*) *auratus* MOTSCHULSKY, 1857 オオセンチコガネ

- Geotrupes splendidus* F. ヨーロッパに分布している種で日本産ではない。
- Geotrupes laevistriatus* Mus. St. P. = *Geotrupes* (*Eogeotrupes*) センチコガネ
- Trox opacotuberculatus* MOTSCHULSKY ヒメコブスジコガネ
- Popilia japonica* HOPE = *Popillia japonica* New-MANN, 1844 マメコガネ
- Phyllopertha horticola* L. というのが記録されているが、この種はヨーロッパ、コーカサス、シベリヤ、蒙古に分布する種で日本に産せず。*P. intermixta* のことをあやまって同定したようである。
- Phyllopertha octerestata* BURM. = *Anomala octiescostata* (BURMEISTER, 1844) ヒラタアオコガネ
- Anomala oblonga* F. というのもどうも同定の誤りで本種はヨーロッパ、コーカサス等に分布している。*A. dubia* Scop. の var. のことで、日本に産しない。次の種と同一種ではないだろうか。
- Anomala rufocuprea* MOTSCHULSKY ヒメコガネ
- Rhombonyx testaceipes* MOTSCHULSKY = *Anomala* スジコガネ
- D. 15. *Euchlora cuprea* HOPE = *Anomala* ドウガネ ブイブイ
- Mimela Gaschkevitchii* MOTSCHULSKY = *Mimela splendens* (GYLLENHAL, 1817) コガネムシ
- Serica japonica* MOTSCHULSKY = *Maladera* (S. St. P.) ピロウドコガネ
- Holotrichia transversa* MOTSCHULSKY = *Heptophylla picea* MOTSCHULSKY, 1857 ナガチャコガネ
- Hoplia obducta* MOTSCH. = *Ectinohoplia obducta* (MOTSCHULSKY, 1857) ヒメアシナガコガネ
- Hoplia subulicola* MOTSCH. = *Ectinohoplia obducta* (MOTSCHULSKY, 1857) 上記種と同じヒメアシナガコガネ
- Glycyphana pilifera* MOTSCHULSKY = *Eucetonia* ハナムグリ
- D. 16. *Rhomborhina clypeata* BURMEISTER = *Pseudotorynarrhina japonica* (HOPE, 1841)
- Rhomborhina clypeata* BURM. = *Pseudotorynarrhina japonica* (HOPE, 1841) カナブン
- Lucanus Cantori* HOPE はアッサム産で日本には産しない。MOTSCHULSKY の記載したのは、ミヤマクワガタの小型の♂ (*Lucanus macuifemoratus*) のことである(1971年, 中根博士はMOTSCHULSKY の collection を調べられた。1972, 1976)。
- Psalidostemus rectus* M. St. P. = *Dorcus rectus* (MOTSCHULSKY, 1857) コクワガタ
- Dorcus binervis* MOTSCHULSKY = *Dorcus rectus* (MOTSCHULSKY, 1857) コクワガタ
1861. V. I. MOTSCHULSKY. *Insects du Japan* Etud. Ent. tome 10 : 3-24.
- 日本の昆虫と題する論文の第3報となる。甲虫以外に半翅目の新種記載も含まれている。コガネムシ、クワガタムシについて次のような新属新種記載がある。
- D. 7. *Heteroplia multistriata* MOTSCH. = *Anomala* ハンノヒメコガネ
- D. 8 *Granida alboineata* MOTSCH. と新種記載種をタイプに *Granida* 新属も設けている。現在は *Polyphylla* (*Granida*) に扱う。シロスジコガネ
- Rhomborhina unicolor* MOTSCH. 新種記載。アオカナブン
- D. 9-10. *Lucanus macurifemoratus* MOTSCHULSKY, ♂♀ ミヤマクワガタ
- D. 11-12. *Serrogathus* 属を創設。タイプは次の *S. castanicolor*
- D. 12-13. *Serrogathus castanicolor* MOTSCHULSKY, ♂ ツシマヒラタクワガタ
- 現在では *Dorcus titanus castanicolor* MOTSCHULSKY ヒラタクワガタの亜種に扱われている。

- p. 13-14. *Psalidognathus inclinatus* MOTSCHULSKY,  
♂ ノコギリクワガタ = *Prosopocoilus*
- p. 16. *Macrodorcus rectus*, 新種の記載でなく,  
1857年に発表した時は♂の標本であったが,  
ここに♀の記載をされた(尤も前回は属名を  
*Psalidostomus* ? としていた). 標本はアカア  
シクワガタ (*Dorcus rubrofemoratus*) の♀で  
あると(中根, 1972, 1976)
- p. 16-17. *Macrodorcus rugipennis* MOTSCHULSKY,  
♂ 新種の記載であるが, やや小型のコクワ  
ガタ *Dorcus rectus* であるとのこと.
- p. 17. *Macrodorcus striati* MOTSCHULSKY, ♂♀ ス  
ジクワガタ = *Dorcus*
- p. 17-18. *Macrodorcus cribellatus* MOTSCHULSKY,  
♂ 小型のスジクワガタ *Dorcus striatipennis*  
であると.
- p. 18-19. *Dorcus binervis* MOTSCHULSKY, ♀ コク  
ワガタ *Dorcus rectus* であるとのこと(中根,  
1972, 1976).

1861. SNELLEN VAN VOLLENHOVEN: Beschrijving  
var eenige nieuwe soorten van Lucanidae.  
Tijdschr. v. Entom. IV : 101-115.

次のように日本産クワガタムシの新種記載がある。

- p. 103. *Lucanus sericanus* SNELLEN VAN VOLLENHO-  
VEN  
現在 *Lucanus maculifemoratus* MOTSCHULSKY  
ミヤマクワガタのシノニムとされている。実  
際にタイプ標本はミヤマクワガタの小型の♂  
であると(中根, 1979)
- p. 112, pl. 6, fig. 4. *Dorcus pilifer* SNELLEN VAN  
VOLLENHOVEN 現在はヒラタクワガタ *Dorcus*  
*titanus* (BOISDUVAL) の日本亜種とされている。  
タイプは2♂(中根, 1979).
- p. 113, t. 7, f. 2. *Dorcus niponensis* SNELLEN VAN  
VOLLENHOVEN 産地は Japan とのみあるとの  
こと。この記載と図はコクワガタ *Dorcus re-*  
*ctus* MOTSCHULSKY の小型の♂である(中根,

1976, 1979)。

1861. HAROLD, E. V. Beitrag zur Kenntnis ei-  
niger coprophagen Lamellicorninen, II.  
Stück

Berl. Ent. Zeitschr. V : 92-115.

本報文は一連の上記表題による食糞類の研究論  
文で(主として *Aphodius* が多い), 世界各地から  
の糞虫類に就いての記載があり, 多くの新種記載  
が出ているが, 日本産は全体を通じて3種しか記  
載されていない。

本論文はその第二篇に当たる。13種の *Aphodi-*  
*us* の解説であるが, この中にpp. 96-97に日本か  
らの新種 *Aphodius apicalis* HAROLD の記載がある。

本種は現在, *Aphodius (Colobopterus) haroldia-*  
*us* BALTHASAR として取扱われている(オオマグソ  
コガネ)。

フォーチュン (ROBERT FORTUNE 1813-1880)

フォーチュンが日本に来た時(万延元年, 1860)  
の見聞を記した "Yedo and Peking, 1863" (Yedo  
and Peking. A Narrative of a Journey to the  
Capitalis of Japan and China. With Notices of  
the Natural Productions, Agriculture, Horti-  
culture and the Trade of Those Countries,  
and Other Things Met with by the way, London,  
1863, 江崎, 新昆虫, 1952, 江戸と北京, 三宅訳,  
広川書店版, 1969)を見ると, 1861年(文久元年)  
一度日本から中国に行き, 再び帰ってきた時の昆  
虫採集の記事に(場所は神奈川, 横浜附近と考え  
られる), "在来種のカブトムシは何千というくら  
い木の葉や花から振って落とされる。ロンドン  
(Bloomsbung street) のスチーブンス氏 (STE-  
VENS) の手紙といて二種類のクワガタ (*Lucani*)  
とオジカカブトムシ, カブトムシ (*Dynastes di-*  
*chotoma* = *Allomyrina dictotoma*) (中国産のもの  
と同一と注釈されている)等々が採集されている"  
ことが紹介されている。

1862. THOMSON, T. Catalogue des Lucanides de la collection de M. JAMES THOMSON, suivi d'un appendix renfermant la description des coapes génériques et spécifiques nouvelles.

Ann. Soc. Ent. France (4) II : 389-436.

p. 417. *Cladognathus mandibularis* THOMSON なる新種記載が Japan よりされているが、後に PARRY (1864) が訂正したように現在では *Prosopocoilus indinatus* (MOTSCHULSKY) とすべき種である(ノコギリクワガタ)。

1862. HAROLD, E. V. Beitrag zur Kenntnis einiger coprophagen Lamellicornien V. Stück Berl. Ent. Zeitschr. VII : 327-329.

本報文では, *Aphodius* 35種(番号51~85)についての記載で9新種, 26既知種の記載である。

p. 344~345に *Aphodius elegans* ALLIBERT が日本より記録されている(Japan und das nördliche China). オオフタホシマグソコガネ

1864. SNELLEN VAN VOLLENHOVEN. Tijdsch. Ent. Nederl. XVII.

本論文所有していないので詳しい内容不明。次の種の記載がある。

p. 158. *Euryomia sieboldi* SNELLEN VAN VOLLENHOVEN の記載。現在の知見では *Glycyphana fulvistema* MOTSCHULSKY, 1860 のシノニム(クコハナムグリ)。

p. 159. *Trichius septemdecimguttatus* SNELLEN VAN VOLLENHOVEN, Japan の記載。現在 *Paratrichius* 属 ジュウシチホシハナムグリ

1864. PARRY, F. A Catalogue of Lucanid Coleoptera; with illustrations and descriptions of various new and interesting species.

Trans. Ent. Soc. London, ser. 3, 2(1) : 1-113, 12pls.

99種に及ぶ新種(45新種, 1新属)並びに稀種の

記載であり(学名変更もあり), 図版も12pls. についており, その当時での世界のクワガタムシ科の目録も発表されており, なかなかの大著である。

日本産については, 次の2種について解説がされている(日本産新種記載なし)。

p. 9. *Lucanus HOPEI* ♂, PARRY (♀ ignota) (pl. VI, fig 2) として Ind. Or., and Archipel Malay を分布として解説されている。

その図は明らかに *L. maculifemoratus* にて現在 *f. hopei* として取扱われる。 *L. Hopei* の原記載は PARRY(1862) である(Proc. Ent. Soc. London, ♂. 産地は東印度)。

p. 10. *Lucanus maculifemoratus* MOTSCHULSKY

*L. sericanus* (De HAAN, M. S.) VOLL. と同種であるとされ(?を付してある), MISEECH と PARRY のコレクションとしてライデン博物館に♂♀の日本産があると。 S. VAN VOLLENHOVEN によりジャワから *L. sericanus* と書かれたのは(1861)誤りで, 多分 *L. maculifemoratus* の小形変種であろうとされており, さらにジャワ産 *L. hircus* の比較については何等報告できるものはないとされている(*L. sericanus* のタイプ標本を検された中根博士が *L. maculifemoratus* の小形の♂であると確認しておられる, 1979)。

1864. PARRY, F. A few Remarks upon Mr. James THOMSON'S Catalogue of Lucanidae, published in the "Annales de la Société Entomologique de France, 1862"

Trans. ent. Soc. London, III (1) : 442-452.

表題のごとく THOMSON の1862年に発表されたクワガタムシ科のカタログの中に含まれている35種について, 著者の所見をのべたものである。

その中で, P. 447に THOMSON が *Cladognathus mandibularis* (p. 417) として日本から新種発表している種は, *L. inclinatus* MOTSCHULSKY であろうと記されている。そして最近, フォーチュンの日本からの採集品の何頭かが S. STEVENS の所に送

られてきていると。

この種は現在では *Prosopocoilus inclinatus* (Mots.)  
として取扱われている。

1865. SNELLEN VAN VOLLENHOVEN. Sur Quelques  
Lucanides du Muséum Royal d'Historie Natu-  
relle a Leide.

Tijdschr. V. Ent., Nederl. VIII : 137-156.

p. 152. t. 2, f. 1, 2 に日本より *Eurytrachelus  
rubrofemoratus* SNELLEN VAN VOLLENHOVEN の新種  
記載あり。現在 *Dorcus* 属 (このタイプ標本は  
Leyden の自然史博物館にあり, これを検された  
中根猛彦博士は間違いなくアカアシクワガタのみ  
であったと。中根, 1979)。

1866. V. I. MOTSCHULSKY. Catalogue de Insects  
reçus du Japan.

Bull. Soc. Imp. Nat. Moscou 39(1) : 163-  
200.

日本産の昆虫目録で一番古いものの一つである  
と考えられる。著者 MOTSCHULSKY 自身は日本に  
来たことは無く, 日本の昆虫に関して4つの論文  
は, いずれも下田へ来た PUTIATIN 提督と共に同  
地に滞留した GOSCHKEVITSCH の採集品と, 後に  
函館のロシア領事になった GOSCHKEVITSCH 夫人  
の採集品からなっている。この論文は表題のごと  
く日本産昆虫(鞘翅目, 直翅目, 膜翅目, 双翅目,  
同翅目, 半翅目, 鱗翅目)の目録であり, 多くの  
新種の記載を含んでいる。コガネムシは7新種を  
含み46種が記録されている。新種以外はこれまで  
の MOTSCHULSKY が発表した論文に出ている種で  
ある。新種として記載された種の学名の属名は,  
現在の知見では全部変わる。他種のシノニムの種  
もある。とにかく, 日本のコガネムシの目録が世  
に示された初めてのものであることは間違い無い  
と思われる。大変粗雑なものであるが, 当時の知  
見からして止むを得なかったと考えられる。記録  
されている種を一応全部示す。

P. 7. *Phanaeus minutus* MOTSCH. = *Liatongus pha-  
naeoides* (WESTWOOD, 1840) ツノコガネ

*Copris acutidens* MOTSCH. = *Copris* (s. str.)

ゴホンダイコクコガネ

*Cantharsius Ochus* MOTSCH. = *Copris* (s. str.)

*ochus* (MOTSCHULSKY, 1860) ダイコクコガ  
ネ

*Geotrupes auratus* MOTSCH. = *Geotrupes* (*Chro-  
mogeotrupes*) *auratus* MOTSCHULSKY, 1857 オ  
オセンチコガネ

*Geotrupes splendidus* F. よくわからない種。多  
分上記オオセンチコガネと同一種と考える。

*Geotrupes laevistriatus* MOTSCH. = *Geotrupes* (*Eo-  
geotrupes*) *laevistriatus* MOTSCHULSKY, 1857  
センチコガネ

*Calamosternus rectus* MOTSCHULSKY = *Aphodius*  
(*Phaeophodius*) マグソコガネ

P. 8. *Calamosternus brevisculus* MOTSCHULSKY =  
*Aphodius* (*Agrilinus*) スバタママグソコガネ

*Chilothorax vitta* MOTSCHULSKY = *Aphodius* (*Phae-  
ophodius*) *rectus* MOTSCHULSKY マグソコガネ

*Melinopterus nigrotessellatus* MOTSCHULSKY = *A-  
phodius* (*Chilothorax*) セマダラマグソコガネ

*Trox opacotuberculatus* MOTSCH. ヒメコブスジ  
コガネ

*Xylotrupes dichotomus* F. = *Allomyrina dichoto-  
mus septentrionalis* (KONO, 1931) カブトム  
シ

*Popilia japonica* HOPE = *Popillia japonica* NEW-  
MANN, 1844 マメコガネ

*Phyllopertha horticola* L. = *Phyllopertha intermix-  
ta* (ARROW, 1913) アオウスチャコガネ

*Phyllopertha octocostata* BURM. = *Anomala octies-  
costata* (BURMEISTER, 1844) ヒラタアオコ  
ガネ

P. 9. *Rhombonyx lucidulus* MOTSCHULSKY = *Anomala*  
*lucens* BALLION, 1871 ツヤコガネ

*Rhombonyx testaceipes* MOTSCHULSKY = *Anomala*  
スジコガネ

*Rhinoplia geniculata* MOTSCH. = *Anomala* ヒメ  
サクラコガネ

- Anomala oblonga* F. = W. JUNK の Col. Cat. を見ると (pars. 66, p. 71), ヨーロッパに広く分布している *Anomala dubia* SCOPE の var. のようで, イタリアあたりに分布している種のように日本産ではない.
- Anomala rufocuprea* MOTSCH. ヒメコガネ
- Euchlora cuprea* HOPE = *Anomala* ドウガネブイブイ
- Heteroplia multistriatus* MOTSCH. = *Anomala albopilosa* (HOPE, 1939) アオドウガネ
- Mimela Gaschkewitchii* MENERTR. = *Mimela splendens* (GYLLENHAL, 1817) コガネムシ
- Serica japonica* MOTSCH. = *Maladera* (s. str.) ビロウドコガネ
- Serica orientalis* MOTSCH. = *Maladera* (s. str.) ヒメビロウドコガネ
- Serica? gricea* MOTSCHULSKY = *Paraseria* ハイイロビロウドコガネ
- p. 10. *Holotrichia transversa* MOTSCH. = *Heptophylla picea* MOTSCHULSKY, 1857 ナガチャコガネ
- Heptophylla picea* MOTSCH. ナガチャコガネ
- Granida albolineata* MOTSCH. = *Polyphylla (Granida) albolineata* (MOTSCHULSKY, 1861) シロスジコガネ
- Hoplia obducta* MOTSCH. = *Ectinohoplia* ヒメアシナガコガネ
- Hoplia sublicola* MOTSCH. = *Ectinohoplia obducta* (MOTSCHULSKY, 1857) ヒメアシナガコガネ
- Rhomborrhina unicolor* MOTSCH. アオカナブン
- Rhomborrhina japonica* HOPE = *Pseudotorynorrhina japonica* HOPE, 1841 カナブン
- Rhomborrhina clypeata* BURM. 前種と同じ. カナブンのこと
- Glycyphana pilifera* MOTSCH. = *Eucetonia pilifer* (MOTSCHULSKY, 1860) ハナムグリ
- Glycyphana albosetosa* MOTSCH. = *Gametis jucunda* (FALDERMANN, 1835) コアオハナムグリ
- Cetonia speculifera* SCHWABE = *Protaetia orientalis submarmorea* (BURMEISTER, 1842) シロテンハナムグリ
- Lucanus maculifemoratus* MOTSCH. ミヤマクワガタ
- Lucanus Cantori* HOPE = *Lucanus maculifemoratus* MOTSCHULSKY, 1861 ミヤマクワガタ
- Prismognathus dauricus* MOTSCH. キンオニクワガタ. 日本では対馬に記録がある種で, 恐らく *Prismognathus angularis* WATERHOUSE, 1874 オニクワガタのことであろう.
- Serrognaethus castanicolor* MOTSCH. = *Serrognaethus titanus castanicolor* MOTSCHULSKY, 1861 ツシマヒラタクワガタ
- Psalidoremus inclinatus* MOTSCH. = *Prosopocoilus* ノコギリクワガタ
- Macrodorcas rectus* MOTSCH. = *Dorcus* コクワガタ
- Macrodorcas rugipennis* MOTSCH. = *Dorcus rectus* (MOTSCHULSKY, 1857) コクワガタ
- Macrodorcas striatipennis* MOTSCH. = *Dorcus* スジクワガタ
- Macrodorcas cribellatus* MOTSCH. = *Dorcus striatipennis* MOTSCHULSKY, 1861 スジクワガタ
- Macrodorcas binervis* MOTSCH. = *Dorcus rectus* (MOTSCHULSKY, 1857) コクワガタ
1867. HAROLD, E. V. Die Arten der Gattung *Caccobius*.  
Coleopterolog Heft. II : 1-16.
- p. 10. に *Caccobius jessoensis* HAROLD (Japan) マエカドコエンマコガネの新種記載あり.
1868. GEMMINGER et B. de HAROLD. Catalogus Coleopterorum Tom III (London)  
当時の世界産甲虫目録で, この目録は1868~1876年の間に Vol. 1~12, XXVI, 3822pp. が出版されている. この第3巻にはクワガタムシ科が含まれている (p. 941-978). 日本産としては10種収録されているが, シノニムのものであるので, 実際には6種が記録されている. MOTSCHULSKY の論

文によるものがその大部分で、分布は総て "Japonia" となっている。なお、第4巻にはコガネムシが収録されている。出版年から云うと明治2年の出版になるが、便宜的に此处に収録次記しておく。

1969. GEMMINGER et B. de HAROLD. *Catalogus Coleopterorum Tome IV* (London)

コガネムシ科の目録で、日本産としては(総て分布は Japonia となっている)26種が記録されているが、MOTSCHULSKY の論文に出てきたものが大部分である。

以上で、明治以前日本で記録されたコガネムシの研究史を文献によって説明してきた。最後に明治迄に日本で記録されたコガネムシ類を現在の学名で次にまとめておく。

明治迄に日本で記録されたコガネムシ主科一覧表(学名は現在使用のものにしてある)

Superfamily Scarabaeoidea コガネムシ主科

Family Lucanidae クワガタムシ科

- 1.\* *Lucanus maculifemoratus* MOTSCHULSKY, 1861  
ミヤマクワガタ
2. *Prismognathus dauricus* MOTSCHULSKY, 1861  
キンオニクワガタ
3. *Prosopocoilus inclinatus* (MOTSCHULSKY, 1857)  
ノコギリクワガタ
4. *Dorcus hopei* (E. SAUNDERS, 1854)  
オオクワガタ
5. *Dorcus rubrofemoratus* (SNELLEN VAN VOLLENHOVEN, 1865) アカアシクワガタ

6. *Dorcus rectus* (MOTSCHULSKY, 1857)  
コクワガタ
7. *Dorcus striatipennis* MOTSCHULSKY, 1861  
スジクワガタ
8. *Dorcus titanus castanicolor* MOTSCHULSKY, 1861  
ツシマヒラタクワガタ
9. *Dorcus titanus pilifer* (SNELLEN VAN VOLLENHOVEN, 1861) ヒラタクワガタ

Family Torogidae コブスジコガネ科

1. *Trox opacotuberculatus* MOTSCHULSKY, 1860  
ヒメコブスジコガネ

Family Geotrupidae センチコガネ科

1. *Geotrupes (Chromogeotrupes) auratus* MOTSCHULSKY, 1857 オオセンチコガネ
2. *Geotrupes (Eogeotrupes) laevistriatus* MOTSCHULSKY, 1857 センチコガネ

Family Scarabaeidae コガネムシ科

1. *Copris* (s. str.) *acutidens* MOTSCHULSKY, 1860  
ゴホンダイコクコガネ
2. *Copris* (s. str.) *ochus* (MOTSCHULSKY, 1860)  
ダイコクコガネ
3. *Caccobius jessoensis* HAROLD, 1867  
マエカドエンマコガネ
4. *Liatongus phanaeoides* (WESTWOOD, 1840)  
ツノコガネ
5. *Aphodius (Colobopterus) haroldianus* BALTHASAR, 1932 オオマグソコガネ
6. *Aphodius (Chilothorax) nigrotessellatus* (MOTSCHULSKY, 1866) セマダラマグソコガネ
7. *Aphodius (Phaeaphodius) rectus* (MOTSCHULSKY, 1866) マグソコガネ

\* 番号は便宜的につけたものである。

- |  |  |
|--|--|
| 8. <i>Aphodius</i> (s. str.) <i>elegans</i> ALLIBERT, 1847<br>オオフタホシマガソコガネ                 | スジコガネ  |
| 9. <i>Aphodius</i> ( <i>Agrilinus</i> ) <i>breviusculus</i> (MOTSCHULSKY, 1866) ヌバタママグソコガネ | 28. <i>Allomyrina dichotoma septentrionalis</i> (KONO, 1931) カブトムシ                                 |
| 10. <i>Ectinohoplia obducta</i> (MOTSCHULSKY, 1857) ヒメアシナガコガネ                              | 29. <i>Eophileuruc chinensis</i> (FALDERMANN, 1835) コカブトムシ   |
| 11. <i>Maladera</i> (s. str.) <i>japonica</i> (MOTSCHULSKY, 1860) ピロウドコガネ                  | 30. <i>Rhomborrhina</i> (s. str.) <i>unicolor</i> MOTSCHULSKY, 1861 アオカナブン                         |
| 12. <i>Maladera</i> (s. str.) <i>orientalis</i> (MOTSCHULSKY, 1857) ヒメピロウドコガネ              | 31. <i>Pseudotorynorhina japonica</i> HOPE, 1841 カナブン  |
| 13. <i>Paraserica gricea</i> (MOTSCHULSKY, 1866) ハイイロピロウドコガネ                               | 32. <i>Eucetonia pilifera</i> MOTSCHULSKY, 1860 ハナムグリ  |
| 14. <i>Heptophylla picea</i> MOTSCHULSKY, 1857 ナガチャコガネ                                     | 33. <i>Anthracophora rusticula</i> BURMEISTER, 1842 アカマダラハナムグリ                                     |
| 15. <i>Melontha japonica</i> BURMEISTER, 1855 コフキコガネ                                       | 34. <i>Glycyphana fulvistemma</i> MOTSCHULSKY, 1860 クロハナムグリ  |
| 16. <i>Polyphylla</i> ( <i>Granida</i> ) <i>albolineata</i> (MOTSCHULSKY, 1861) シロスジコガネ    | 35. <i>Protaetia orientalis submarmorea</i> (BURMEISTER, 1842) シロテンハナムグリ                           |
| 17. <i>Popillia japonica</i> NEWMANN, 1844 マメコガネ   | 36. <i>Gametis jucunda</i> (FALDERMANN, 1835) コアオハナムグリ   |
| 18. <i>Phyllopertha intermixta</i> (ARROW, 1813) アオウスチャコガネ                                 | 37. <i>Paratrichius septendecimguttatus</i> (SNELLEN VAN VOLLENHOVEN, 1864) ジュウシチホシハナムグリ           |
| 19. <i>Mimela splendens</i> (GYLLENHAL, 1817) コガネムシ  |  |
| 20. <i>Anomala albopilosa</i> (HOPE, 1839) アオドウガネ  | 以上, 明治迄に日本産で学名の与え記録されているものは, 4科49種ということになる。  |
| 21. <i>Anomala costata</i> (HOPE, 1839) オオスジコガネ  | 現在(1996)の日本産コガネムシ主科の種は8科426種176亜種が知られているのだから, この時点では11%位が日本から記録されていることになる。                         |
| 22. <i>Anomala cuprea</i> (HOPE, 1839) ドウガネブイブイ  | 当時の日本は, まだまだ自然状態は良好で, 未開の地を多く残していた。記録されているものは, 比較的一般に見られるものが主体であるが, 現在でもわりと分布が限られていると考えられる種も含んでいる。 |
| 23. <i>Anomala geniculata</i> (MOTSCHULSKY, 1866) ヒメサクラコガネ                                 | なにぶんにも採集調査する人がいなく, 限られた範囲で限られたヨーロッパ人の採集の結果からすれば止むを得ない状況だと考えられる。                                    |
| 24. <i>Anomala multistriata</i> MOTSCHULSKY, 1861 ハンノヒメコガネ                                 |  |
| 25. <i>Anomala octiescostata</i> (BURMEISTER, 1844) ヒラタアオコガネ                               |  |
| 26. <i>Anomala rufocuprea</i> MOTSCHULSKY, 1860 ヒメコガネ                                      |  |
| 27. <i>Anomala testaceipes</i> (MOTSCHULSKY, 1860)   |  |